

## 巻頭言



神奈川県副知事 小坂橋 聡士

# 多文化共生社会の実現に向けて

神奈川県には、2022年1月現在、172の国と地域、222,018人の外国籍県民が生活しています。

そうした中、本県では、多文化共生社会の実現を目指し、外国籍県民等がくらしやすい環境づくりや多文化理解の推進等に取り組んでいます。

具体的には、外国籍県民等も、言葉の壁などにより不便や疎外感を感じることがなく、地域社会の一員として共にくらす環境を整えるため、初心者向けの日本語講座の開催や日本語教育に取り組む市町村等を支援するなど、地域日本語教育の総合的な体制づくりを行っています。

また、外国籍県民等が安心・安全に過ごすことができる環境をつくるため、外国籍県民等に多言語による生活に関する情報提供・通訳支援を行う「多言語支援センターかながわ」の運営なども行っています。

近年、目覚ましい経済成長を遂げているベトナムとの交流も、これまで力を入れてきた取組の一つです。

本県では、2015年から「ベトナムフェスタ in 神奈川」を開催、2018年からはベトナムにおいて「KANAGAWA FESTIVAL in HANOI」を開催するなど、経済や観光、文化、人材交流など様々な分野でベトナムとの交流を深めてきました。

コロナ禍で対面での交流が難しい時期もありましたが、2022年はベトナムとの将来にわたる関係強化に向けて、若者世代の交流を促進する「若者交流プログラム」を新たに実施するなど、ベトナムと神奈川県両地域の将来にわたる持続可能な発展に向けて、積極的に交流を促進していきます。

さらに、留学生など神奈川に親しみを持つ国内外の外国人の方々や、その方々を支える人々の集まりである「かながわ国際ファンクラブ」を結成しています。

ファンクラブでは、神奈川の魅力的な情報を発信、交換し、人と人との交流を進め、ファンクラブを通して、世界と神奈川をつなぐネットワークをつくり、皆様とともに活力ある神奈川をつくることをめざしています。

今後もこのような取組を継続することにより、国籍にかかわらず、お互いが理解しあい、県民一人ひとりが生きがいを持ってともに笑い、心豊かにくらすことができる多文化共生の地域社会づくりに取り組んでまいります。